

第28回ちゅピCOM放送番組審議会議事録

日 時 : 2025年3月19日(水) 10:00~11:30

場 所 : 中国新聞ビル8階 中国経済クラブ

出席委員 : 6名/委員総数7名

石坪隆雄(委員長)、中村由利江(副委員長) 石橋勇、
木村正信(欠席) 西尾裕次、船附洋子、柳迫長三(敬称略)

社側出席 : 山本慶一郎(代表取締役社長・CEO)、中谷博之(代表取締役副社長・COO)

土井俊裕(取締役 CFO)

藤本裕輝(メディア事業本部 編成制作部長)

【報告事項】

1.ちゅピCOM11chの現状について

藤本部長が、ちゅピCOM11chの2024年4月から2025年3月までの取り組みの概要を報告した。制作スローガンのひとつである「広島のスポートを応援します」を实践すべく一昨年から始めた秋季高校野球広島県大会の中継に加え秋季高校野球中国地区大会を放送したことや、新たにインターハイ男子サッカー中継をおこなったことを報告。

また昨年7月に広島市防災士ネットワークと情報提供連携協定を結び災害時などにいち早く避難情報を届けられるよう体制を強化したことなど地元に着目した番組、安全・安心につながる情報提供を拡充していることなどを説明した。

【審議事項】

2. 審議番組「コミュニティチャンネルの内容、編成」について

ちゅピCOM11chの放送内容や番組編成について審議した。

審議内容: 委員からの主な意見は次のとおり。

① 秋の高校野球中継 県大会、中国地区大会

- ・地元の身近な学校、選手が出ていると高い感心をもって視聴できる。
- ・今後も同様に継続してもらいたい。
- ・高校野球だけでなくインターハイ高校サッカーの中継や長崎のチームとの平和を祈念する試合の様子を伝えることは意義深い。

② 新編成の「おしん」は大変よかった。引き続き、尾道が舞台の「てっぱん」も見ている。 今後もドラマシリーズに期待する。

③ 特急あずさについて

- ・壬生の花田植えを丁寧に取材しており、本番までの準備や苦労の様子が伝わった。
裏方の情報を掘り下げる姿勢はちゅピCOMらしさが出ていてよかった。

④ 防災情報の発信について教えてほしい

事務局から「緊急情報は即時性を生かしたデータ放送で、啓発は番組制作で対応している」と回答。

⑤ 被爆 80 年の独自番組

複数の委員から、広島のカブテレビ局として独自の被爆 80 年の番組を制作してもらいたいとの要望が出された。

⑥ 選挙速報番組

府中町長選、北広島町長選など今年も 2 つの町長選開票速報を見た。ちゅピ COM でなければ放送できない番組だと思うので継続を期待する。

⑦ その他

- ・自治会の世話をしている関係で自治会機能の低下を肌で感じている。詐欺被害防止のため外部との連絡を断絶しがちな高齢者が増えている。いざというときの情報が必要なタイミングで届くような仕組みを地域として検討する必要がある。
- ・ちゅピ COM に取材を受けて番組放送後に、担当者の取材の御礼とフォローを丁寧にしてもらい好感をもてた。
- ・「ひろしま神楽」は郷土芸能を伝える貴重な番組。以前より放送回数は減ったが広島に神楽ファンは多いので今後に期待する。
- ・グルメ情報番組「ぶらり広島食べ歩き」を見てお店を訪ねることも多い。世代問わず人気がある。
- ・ちゅピ COM LIVE は各地のリアルタイム映像や交通情報が一度に知ることができて荒天時に参考になっている。

以上。